

つばさと衝突 女性死亡



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023 (622) 5271
Copyright (c) 2013
Yamagata Shimbun

2013年
12月29日
〈日曜日〉

電子
速報版

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

高島の踏切、乗用車大破

一時運転
見合わせ 帰省の足大きく混乱



29日午前9時35分ごろ、高島町夏茂のJR奥羽本線中瀬踏切で山形新幹線つばさ下り123号と乗用車が衝突した。乗用車を運転していた米沢市内の女性は死亡したとみられる。つばさ123号は東京発新庄行きで乗客、乗員は約290人。1人が首の不調を訴え病院に搬送された。

山形新幹線は福島―新庄間、奥羽本線は米沢―山形間で上下とも衝突したつばさと普通乗用車を調べる南陽署員ら。29日午後0時4分、高島町夏茂

運転を見合わせ、帰省ラッシュが続く中、ダイヤは大幅に乱れた。両線とも同日午後1時10分に運転を再開した。下りのつばさは福島駅でやまびこと分割せず、仙台駅まで運行された。

南陽署によると、山形方向に進行中のつばさだが、乗用車とぶつかった。つばさの運転士は「踏切に進入してきた乗用車に気付きブレーキを掛けたが間に合わなかった」と話している。女性は「仕事に行く」と言つて1人で出掛けたという。

現場の踏切では西側の遮断機が折れた。車は踏切の北側20〜30メートルの地点まで飛ばされ、原形をとどめないほど大破。踏切付近には車の部品が散乱していた。